

日本民間薬のルーツ

東京農業大学

生物資源開発学科・薬用資源学研究室

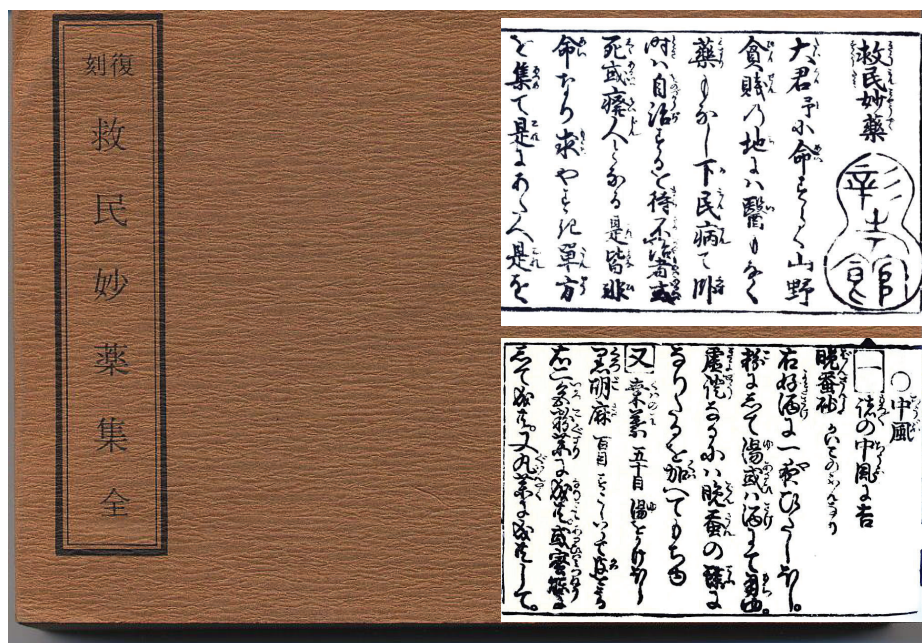
御影雅幸

四国の民間薬調査（昭和54年8月）



人民卫生出版社	本草綱目 (校点本第一册)	明・李時珍著	李時珍著『本草綱目』（明代） 猕猴 肉 〔气味〕酸，平，无毒。〔主治〕诸风劳，酿酒弥佳。作脯食，治久疟。慎微食之，辟瘴疫。时珍 〔发明〕〔时珍曰〕异物志言：南方以猕猴头为鲈。临海志言：粤民喜啖猴头羹。又巴徼人捕猴，盐藏，火熏食，云甚美。 头骨 〔主治〕瘴疟。作汤，浴小儿惊病，鬼魅寒热。慎微 〔附方〕旧一。鬼疟进退不定。用胡孙头骨一枚，烧研。空心温酒服一钱，临发再服。圣惠方。 手 〔主治〕小儿惊病口噤。慎微 尿 〔主治〕涂蜘蛛咬。慎微小儿脐风撮口，及急惊风，烧末，和生蜜少许灌之。时珍出心鉴及卫生方。
----------------	--------------------------	---------------	---

水戸光圀編・穂積甫庵著（元禄六年：1693年）



救民妙薬集に登場する病名

- 20回：蛇咬の薬
- 19回：食あたり（食傷・解毒，諸魚の解毒，諸毒解，蟹の毒，鯉に酔たる，きのこ，魚毒，生肉の食毒）
- 14回：むし歯の薬。
- 12回：痔のくすり，ひょうそ。
- 11回：とげふみぬきの事，痢疾。
- 10回：みみだれ，打ち身の薬。
- 9回：鼠咬。
- 8回：喉にとげがたったとき，淋病の薬，諸淋の薬，くさがさの薬，卒死を救う方。
- 7回：河豚に酔たるに，白禿瘡，すねくさの薬，寸白のくすり，胸蟲の薬，血どめ。

救民妙薬に登場する植物名

- 19回：ゴマ（ごま油を含む）
- 10回：カンゾウ（甘草）
- 8回：クチナシ、コショウ
- 7回：チャ、マツ、（酒）
- 6回：イネ、キハダ、クズ。
- 5回：ウメ、ショウガ、ダイオウ、ダイズ、ナス。
- 4回：アイ、サクラ、シュロソウ、トウゴマ、ナンテン、ハス、ミカン、モモ、ヤマノイモ、ワタ。
- 3回：イヌザンショウ、イノコヅチ、エノキ、オオバコ、カブラ、クヌギ、クワ、ケイトウ、スイカズラ、タデ、ハズ、ヒルムシロ、マコモ、ムギ、メハジキ、ユウガオ、ヨクイニン。

救民妙薬集に収載されていない日本民間薬

• 日本固有と考えられるもの

オトギリソウ、センブリ、ゲンノショウコ、アカメガシワ、キランソウ、タラノキ、イチイ、ツリガネニンジン、アキカラマツ、クロモジ、クマヤナギ、クサノオウ、タケニグサ、コナスビ、カキドウシ、ニワトコ、チドメグサ、ササ、スイセン、アスナロ、ウラジロガシ、レンリソウ、カワラケツメイ、マツブサ、オモト、ツチアケビ

• 中国からの影響が考えられるもの

チョウセンニンジン、アケビ、ガマ、ノアザミ、タンポポ類、マタタビ、ギシギシ、キンミズヒキ、ヒシ、クララ、イカリソウ類、ヤブコウジ、ヤマゴボウ、アマドコロ、ナルコユリ、リンドウ類

救民妙薬集に登場する植物の原産地

• 明らかな輸入品（全161種のうち10種）

甘草、麒麟血、胡椒、大黄、巴豆、濱榔子、黄芩、沈香、（五味子）、木香。

• 漢方生薬（全161種のうち66種）

主なもの：阿膠、黄連、葛根、甘草、半夏、牛膝、防己、牡蠣、熊胆、陳皮、五味子、生姜。

収載のない漢方生薬：人参、麻黄、柴胡、朮、---

韓国と日本民間薬の薬効の比較 薬効が共通するもの（全体の2/3）

• イチヤクソウ	全草	出血、切傷	（上段：韓国民間薬）
イチヤクソウ	葉	外傷	
• タラノキ	小枝、樹皮	神経痛、糖尿病、他	
タラノキ	皮、根	糖尿病	
• ゲンノショウコ	全草	止瀉、利尿剤	
ゲンノショウコ	全草	下痢、腹痛、便秘、胃カタル、収斂	
• アキノキリンソウ	全草	黄疸、乳腺炎、リンパ腺腫、利尿、他	
アキノキリンソウ	全草	腎臓炎、ネフローゼ、膀胱炎	
• ノアザミ	地下部	消炎、止血薬	
ノアザミ	根	腫物、関節リウマチ、神経痛、脊髄炎	
• キツネノマゴ	全草	神経痛、他	
キツネノマゴ	茎葉	神経痛、リウマチ（外用）	
• ヒキオコシ	全草	抗癌薬、苦味健胃薬	
ヒキオコシ	全草	健胃、強壮、腹痛	
• ヤマザクラ	樹皮	解熱薬、鎮咳、他	
ヤマザクラ	樹皮	解熱、収斂、鎮咳、解毒	
• センブリ	全草	苦味健胃薬、下痢、胎毒	
センブリ	全草	健胃、消化不良、毛生え、	



チレッタ草（ネパール・ヒマラヤ）



センブリ

トリカブトの仲間の塊根（チベット）



オクトリカブト
（アイヌ民族の矢毒）



名寄市北国博物館・北方民族博物館（網走市）

